



# 単語難易度判定機能を有するエディタの開発

柴田大介, 村田進, 北村達也 (甲南大学知能情報学部)  
川村よし子 (東京国際大学言語コミュニケーション学部)

## 1 研究の背景と目的

文の難易度を高める要因を検出するwebシステムを開発してきた

- 語彙チェッカー (川村, 1998)
- 単語親密度チェッカー (川村, 北村, 2008)
- IDFを用いた単語レベル判定 (北村, 川村, 2009)
- 中止法や名詞修飾の検出 (水嶋ら, 2011)
- 主格省略検出 (中村ら, 2012)



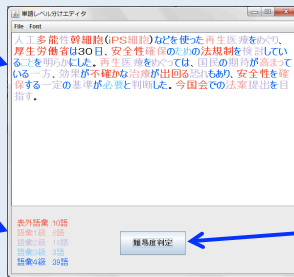
結果表示の際にページが切り替わるため、文章編集には使い勝手の悪い面がある

ページを切り替えずに難易度判定を行い、編集作業を継続できるエディタを開発した

## 2 エディタ

旧日本語能力試験出題基準に基づき色分け表示

各級の単語数を表示

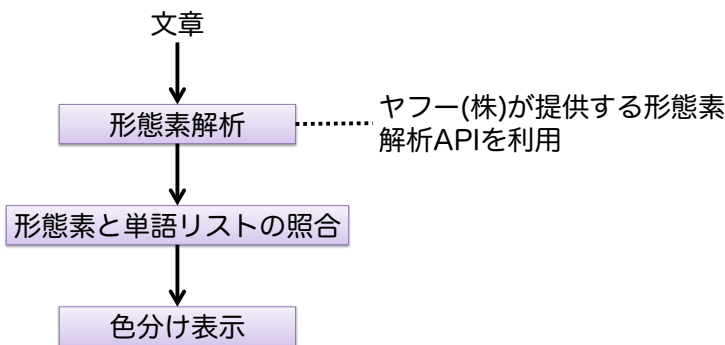


判定基準の切り替え可能

色分けを保持したままRTFファイルに保存可能

難易度判定ボタンをクリックすると難易度判定を実行

処理の流れ (語彙チェッカーとほぼ同じ)



```

<filtered_count>4</filtered_count>
<word_list>
  <word>
    <surface>犬</surface>
    <reading>いぬ</reading>
    <pos>名詞</pos>
    <baseform>犬</baseform>
    <feature>名詞,名詞,*,犬,いぬ,犬</feature>
  </word>
  <word>
    <surface>が</surface>
    <reading>が</reading>
    <pos>助詞</pos>
    <baseform>が</baseform>
    <feature>助詞,格助詞,*,が,が</feature>
  </word>
  <word>
    <surface>好き</surface>
    <reading>すき</reading>
    <pos>形容動詞</pos>
    <baseform>好き</baseform>
    <feature>形容動詞,形動,*,好き,すき,好き</feature>
  </word>
</word_list>
<ma_result>
  
```

「犬が好き」の形態素解析結果

## 3 今後の課題

- Undo, Redo 機能の実装
- 利用者の作業状況に応じて自動的に難易度判定を行うようにする

富谷が開発を引き継ぎ、1年後にまたJLEMにて発表します。  
ご要望があれば何なりとお申し付けください。